

様式1(主な取組)

活動指標名					R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
観光学習教材作成・配布					実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度				0	順調	デジタル版の観光学習教材を作成し、県内 小学4年生等に配布し、観光教育の推進を 図った。
	16,400冊	17,100冊	17,500冊	デジタル版 観光学習教 材の配布	デジタル版 観光学習教 材の配布	デジタル版 観光学習教 材の配布	100.0%			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度				0	順調	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 デジタル版の観光学習教材を作成し、県内 265校の小学4年生等に配布し、観光教育の推 進に繋がった。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度				0	順調	
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・更なるデジタルの活用や利用促進の周知等を図り、観光学習教材の利便性向上、活用促進に取り組む。 ・教材作成時に県教育庁などと連携し、教育の視点も含めた教材づくりに取り組む。 						<ul style="list-style-type: none"> ・OCVBにおいて、出前講座の周知を実施すると共に、実際に観光学習教材を活用した出前講座を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響等により、教材の新規作成や改訂は実施しなかった。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・観光教育に関しては定量的な評価が難しく、効果が図りにくい。

○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で観光産業への就業意向の低下が懸念される。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・観光産業の魅力向上に向け、教材の利便性向上が必要。
- ・継続して関係機関等と連携しながら観光教育の推進を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・更なるデジタルの活用や利用促進の周知等を図り、観光学習教材の利便性向上、活用促進に取り組む。
- ・教材作成時に県教育庁などと連携し、教育の視点も含めた教材づくりに取り組む。